

【作り方説明書】

浴衣セットの型紙

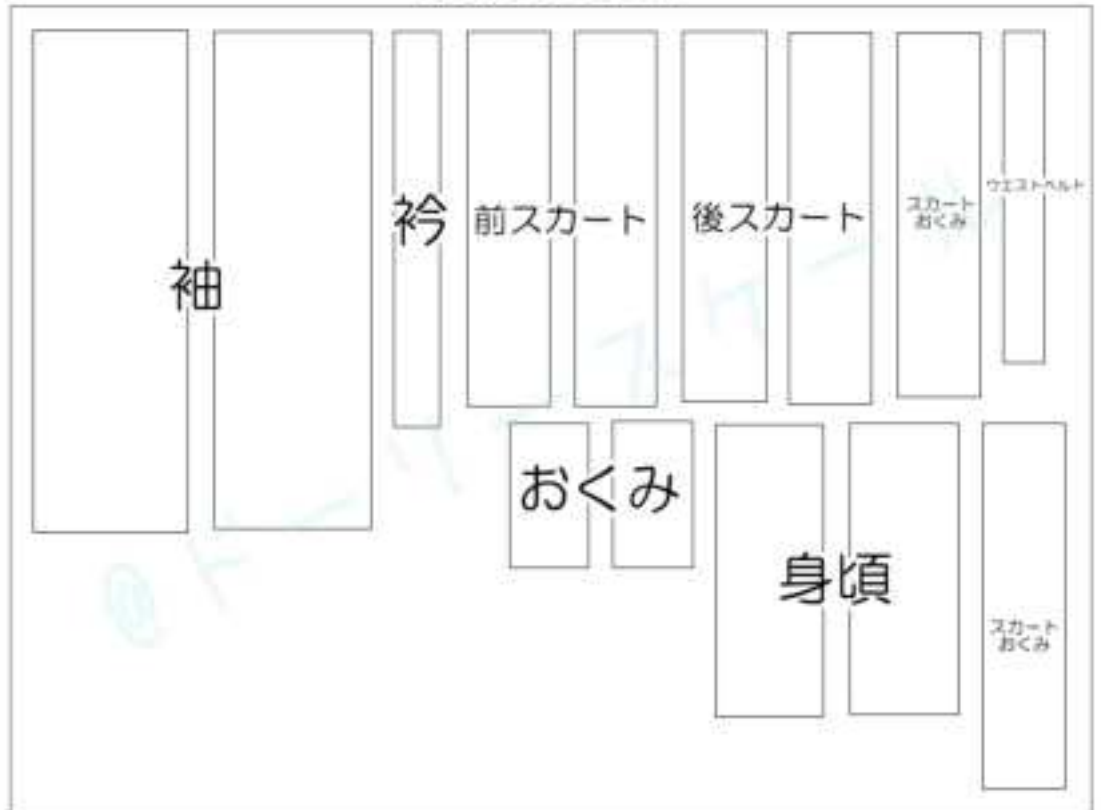
<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 40cm ソフビ ・ 45cm ソフビ ・ 50cm ソフビ ・ 58cm ソフビ 	<p>■難易度</p> <p>イージー / 【ノーマル】 / ハード / ハード↑ / エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地の厚み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 40cm 浴衣本体：0.19 mm / 浴衣帯：0.23mm ・ 45cm 浴衣本体：0.45 mm / 浴衣帯：0.34mm ・ 50cm 浴衣本体：0.13mm / 浴衣帯：0.33mm ・ 58cm 浴衣本体：0.2 mm / 浴衣帯：0.27mm 	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通～やや薄手の生地 ・ 接着芯 ・ 面ファスナー
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■旧版をお持ちのお客さまへ</p> <p>旧版は 45cm ソフビ用（スカートのみ）の裾丈の記載がありません。</p> <p>45cm で使用する場合は、40cm ソフビ用の裾ラインから 3cm 丈を延ばすと丁度良い丈になります。</p>
<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浴衣本体 <p>①②身頃 2枚→左右反転して2枚</p> <p>③衿接着芯 1枚→そのまま1枚</p> <p>④⑤袖 2枚→左右反転して2枚</p> <p>⑥衿 1枚→そのまま1枚</p> <p>⑦⑧後スカート 2枚→左右反転して2枚</p> <p>⑨⑩前スカート 2枚→ //</p> <p>⑪ウエストベルト 1枚→そのまま1枚</p> <p>⑫⑬スカートおくみ 2枚→左右反転して2枚</p> <p>⑭⑮おくみ 2枚→左右反転して2枚</p> <p>合計：15枚 のパーツで構成</p>	<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浴衣帯 <p>①帯本体 A 1枚→そのまま1枚</p> <p>②たれ B 1枚→ //</p> <p>③たれ A 1枚→ //</p> <p>④帯本体 C 1枚→ //</p> <p>⑤リボン 1枚→ //</p> <p>⑥帯本体 B 1枚→ //</p> <p>合計：6枚 のパーツで構成</p>

■必要な布量参考数値

浴衣セットの型紙【40,45cmソフビ】

横90cm

縦67cm



縦35cm



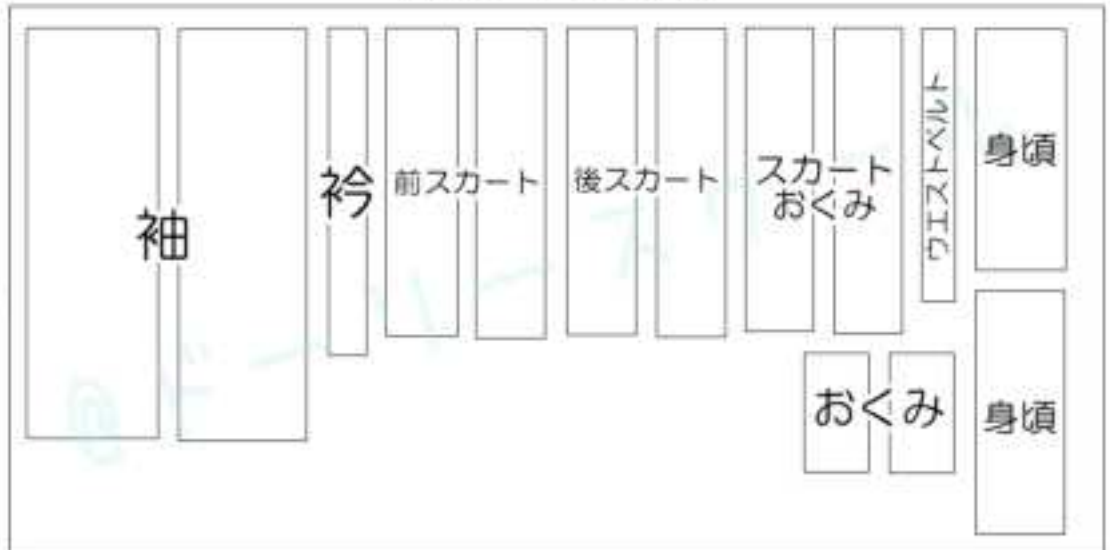
縦22cm
*別布



浴衣セットの型紙【40,45cmソフビ】

横110cm

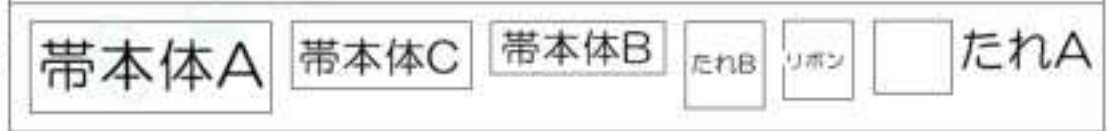
縦54cm



縦35cm



縦13cm
*別布



浴衣セットの型紙【40,45cmソフビ】

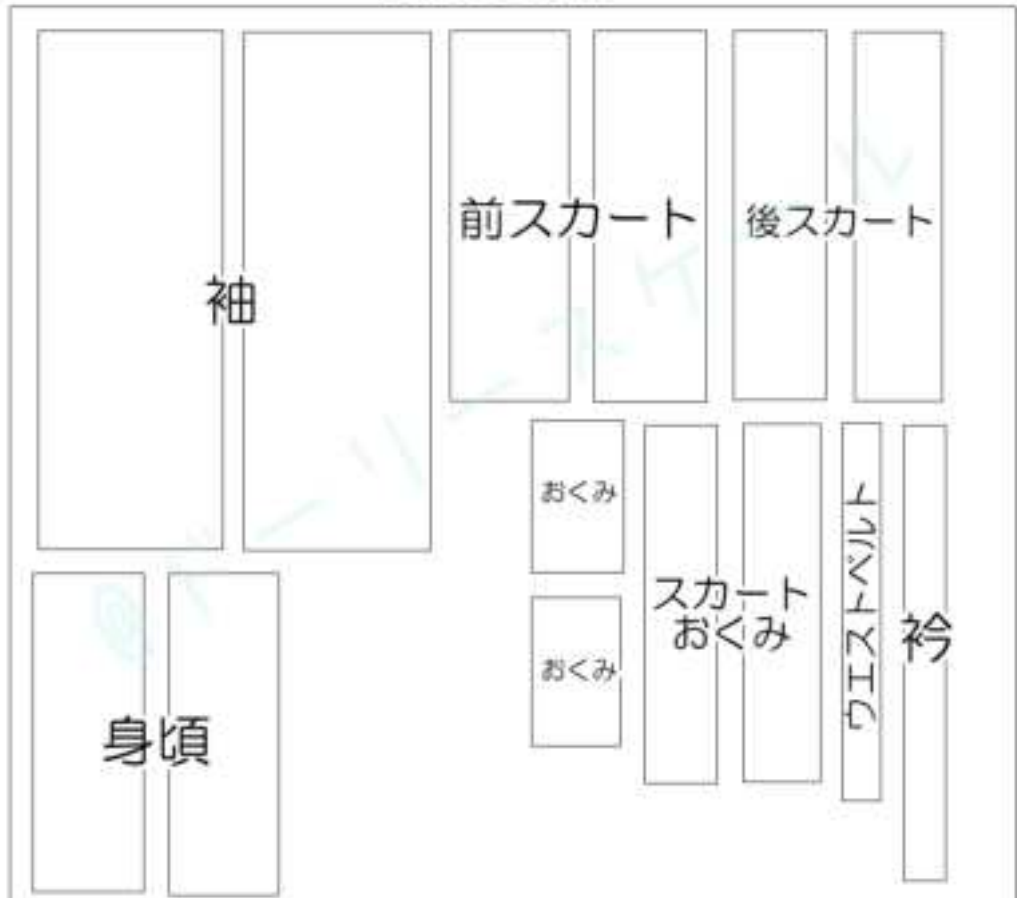
横140cm



浴衣セットの型紙【50cmソフビ】

横90cm

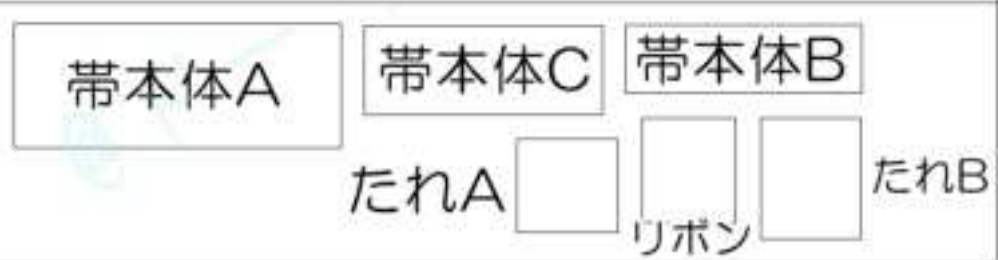
縦81cm



縦44cm



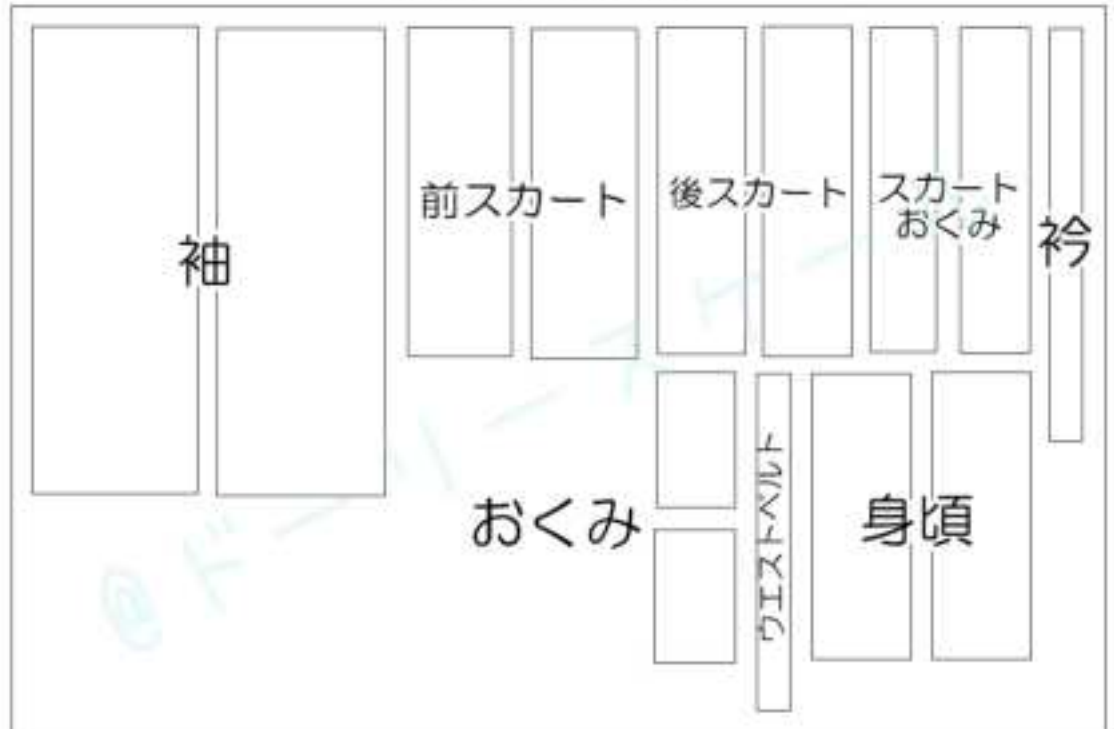
縦22cm
*別布



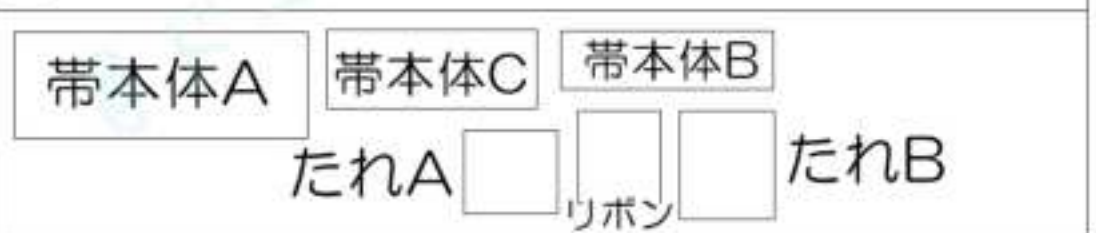
浴衣セットの型紙【50cmソフビ】

横110cm

縦73cm



縦44cm

縦22cm
*別布

浴衣セットの型紙【50cmソフビ】

横140cm



浴衣セットの型紙【58cmソフビ】

横90cm, 110cm

縦91cm

袖

前スカート

後スカート

ウエストベルト

おくみ

身頃

スカート
おくみ

衿

縦48cm

衿接着芯

縦28cm
*別布

帯本体A

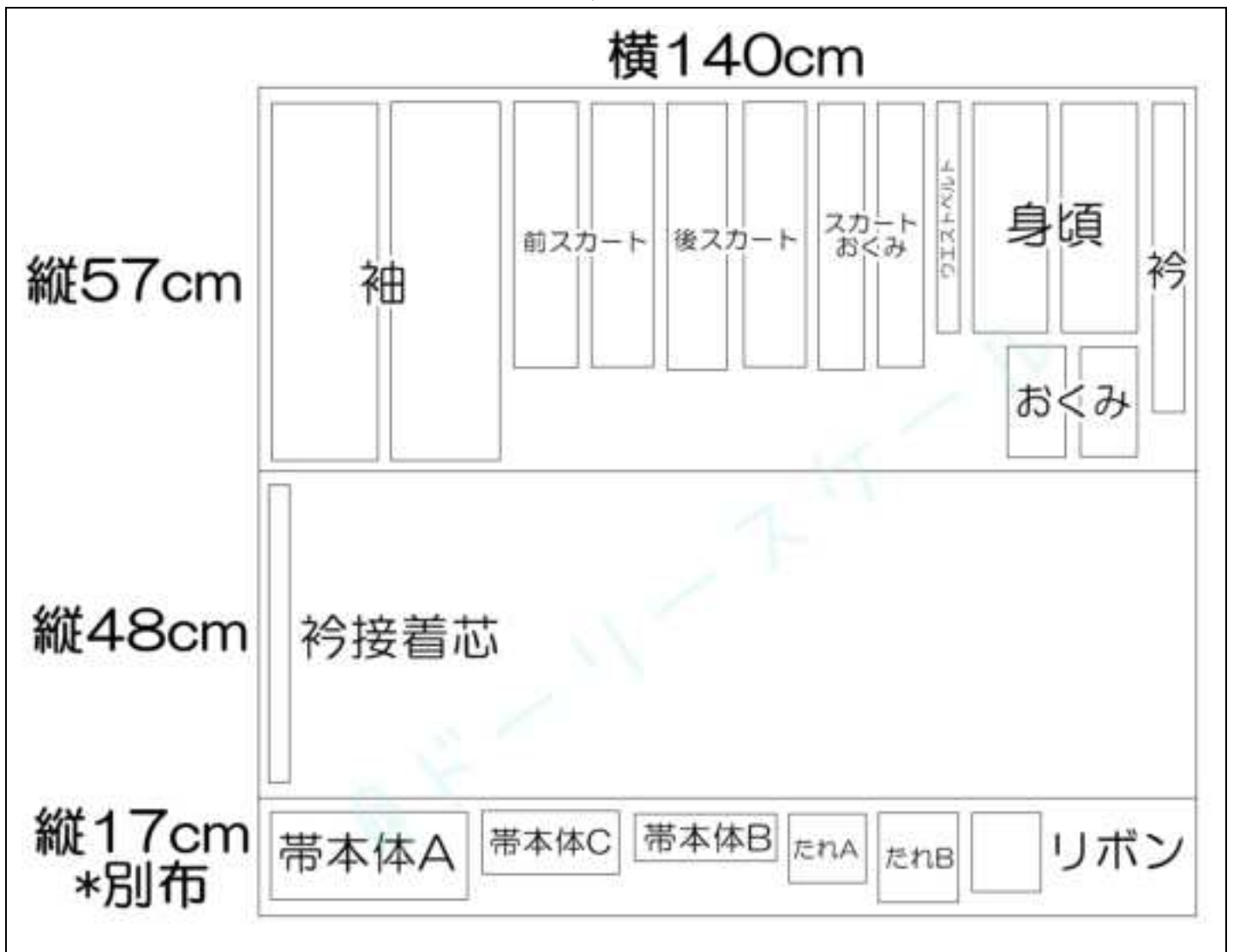
帯本体C

帯本体B

たれB

リボン

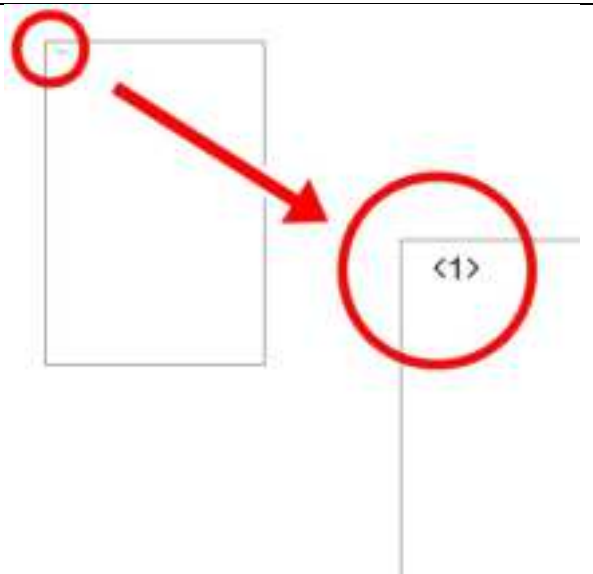
たれA



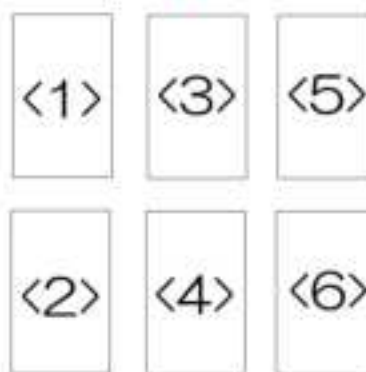
01. 型紙を貼り合わせる

① 型紙に割り振られている番号を確認する。

- 番号は型紙の左上に記載
 ※①～⑤の右図は全型紙共通で使用しています。
 型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。
 枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。



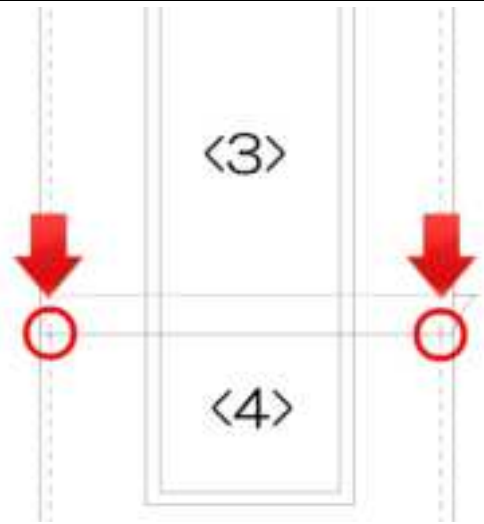
- ② <1>の型紙に記載されている通りに
型紙を並べる。
〔「青色の数字の型紙貼り合わせる」
という箇所に記載。



- ③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

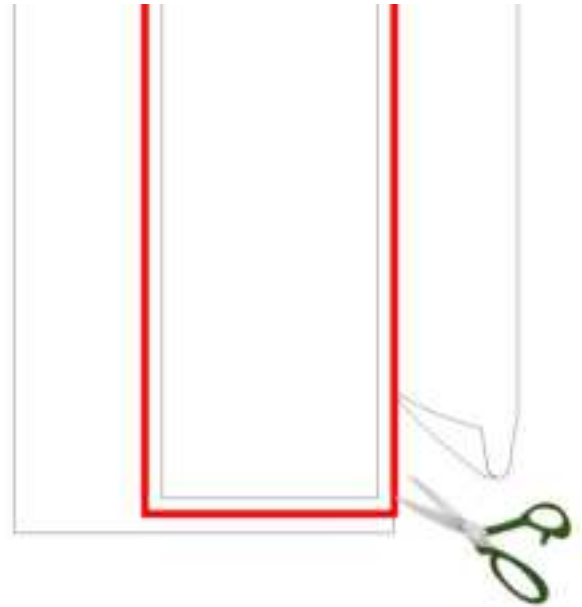


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。



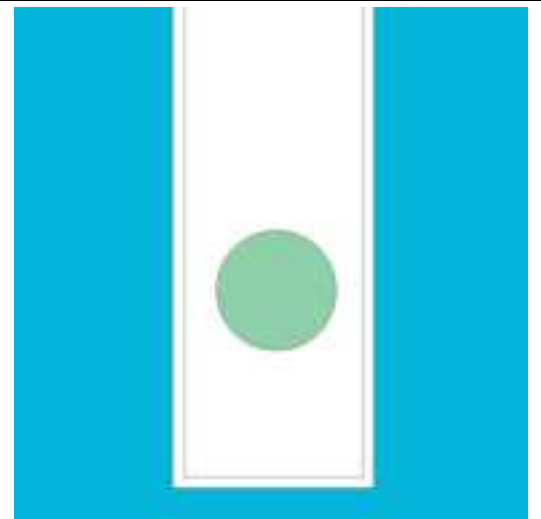
02. 型紙を切り取る。

〔 02~07 の右図は全型紙共通で使用
しています。〕



03. 布を裏にして型紙を置く。

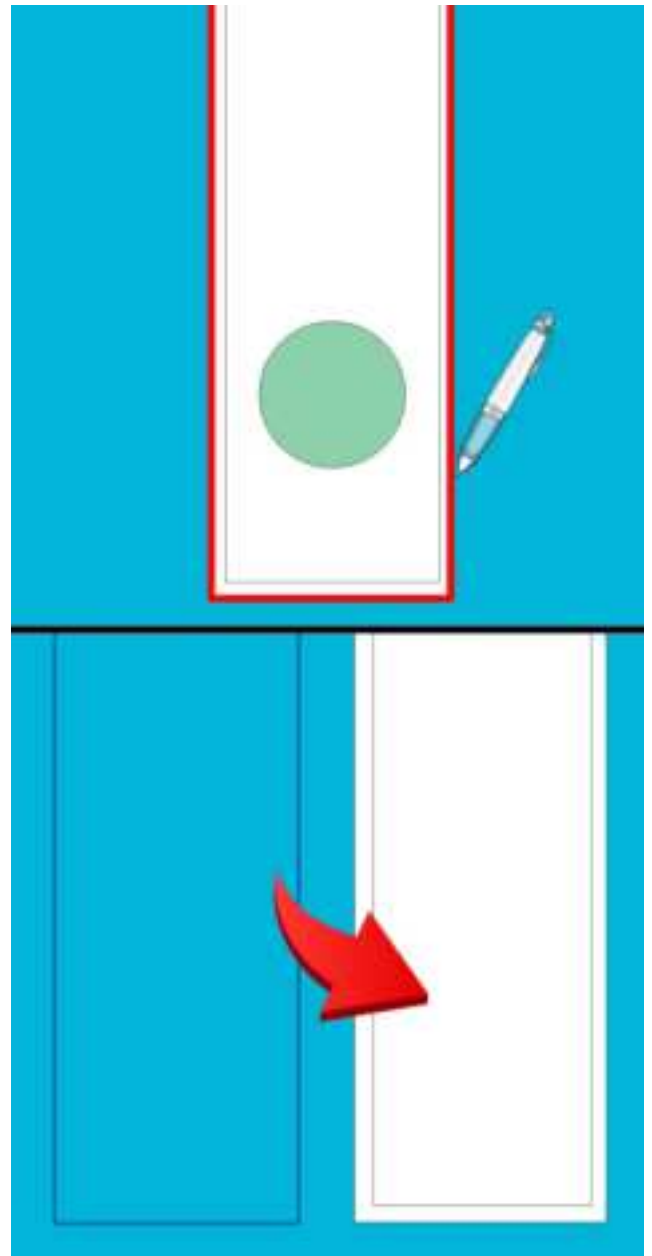
〔 まち針で留めず、ペーパーウェイト等で
型紙が動かない様にする。〕



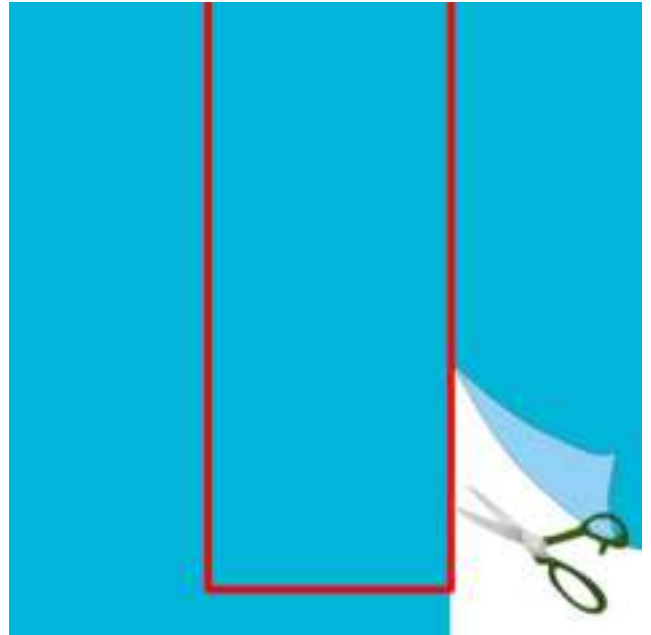
04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

※オススメのチャコペン

- ・カリスマシャープペンシル(使用中)
- ・クロバー 水性チャコペン

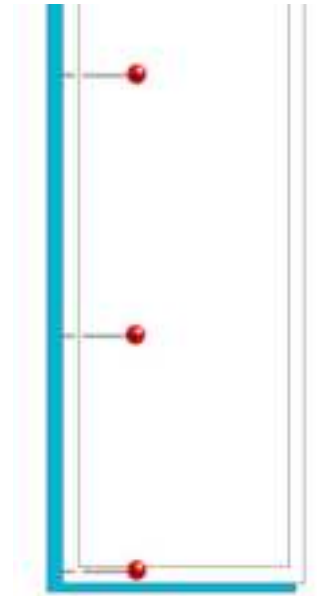


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

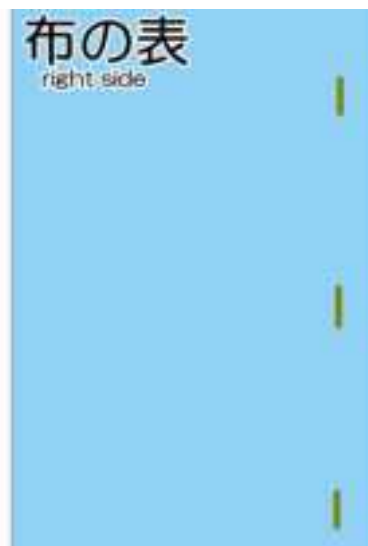
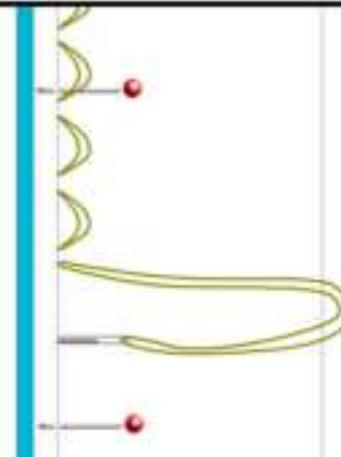
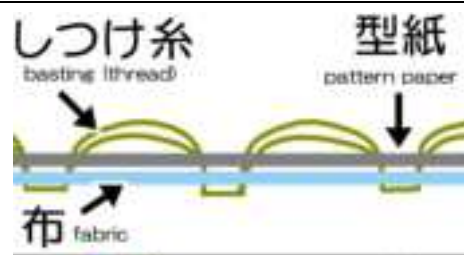
① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔 玉止めはしない。〕



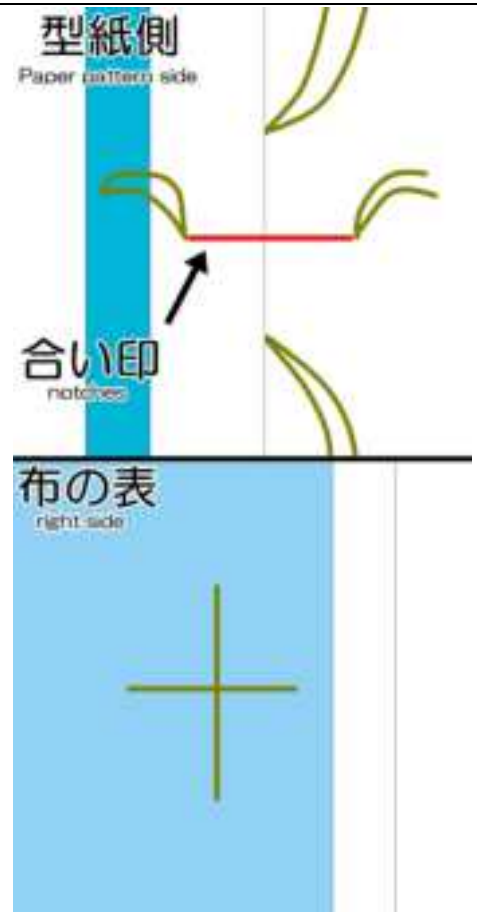
② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

- A. 型紙から刺す
 - B. 布を刺す
 - C. 0.3cm 程度すくうように縫う
 - D. 型紙を刺す
 - E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す
- A~E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
 全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕



- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



- ④ 上側のたるませた糸を切る。



- ⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。
〔糸を抜き取らない様に注意。〕

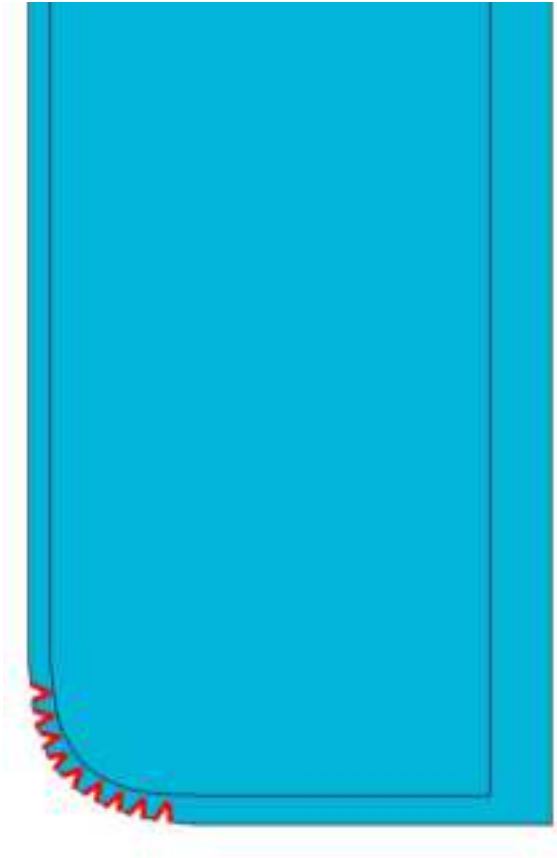


⑧ しつけ糸が抜けずに、アイロンか指で糸を寝かせる。



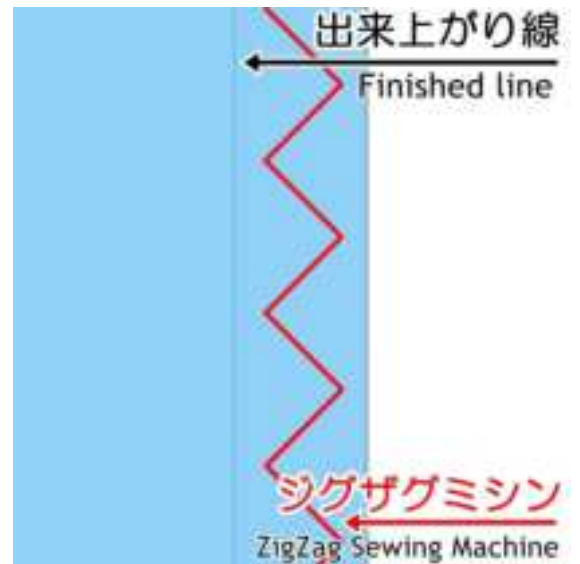
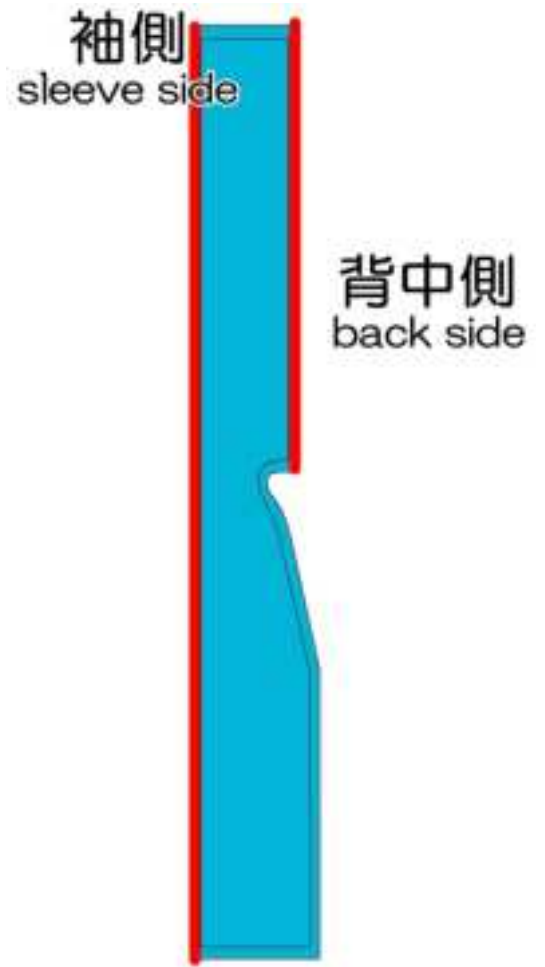
【浴衣本体】

08. 袖×2 のカーブに切り込みを入れる。
〔 反対側も同じように切り込みを入れる。〕

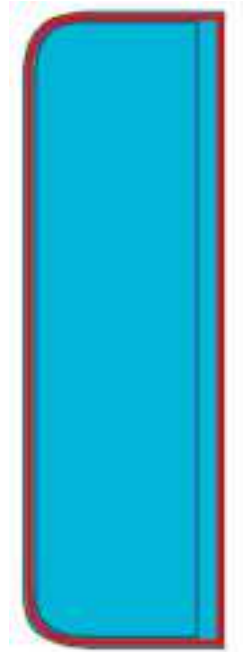


09. 身頃×2の背中側と袖側に、
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
布端から針が落ちないように、少し内側を縫う。

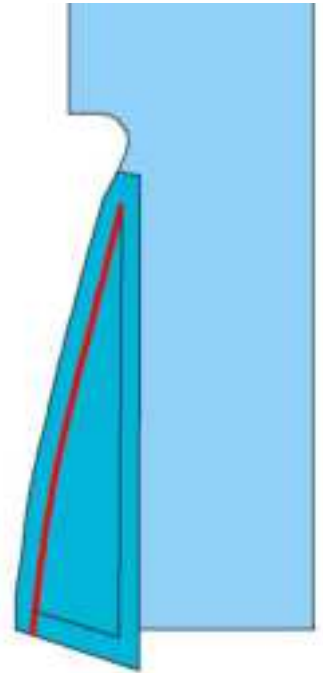


10. 袖×2 にロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

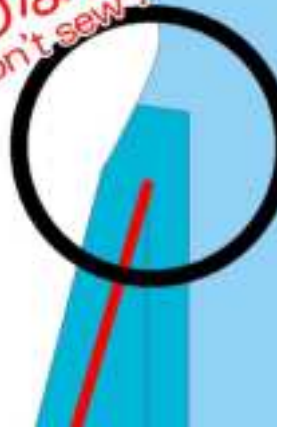


11. ”おくみ” ×2 と前身頃×2 を、表が内側になる様に合わせて縫う。

- 〔おくみの先は縫わない。
 〔おくみ：前身頃に縫ってある細長い部分
 (画像の黄緑色の部分)

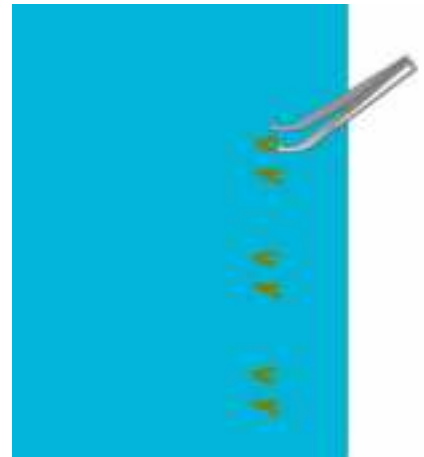


縫わない!
don't sew!

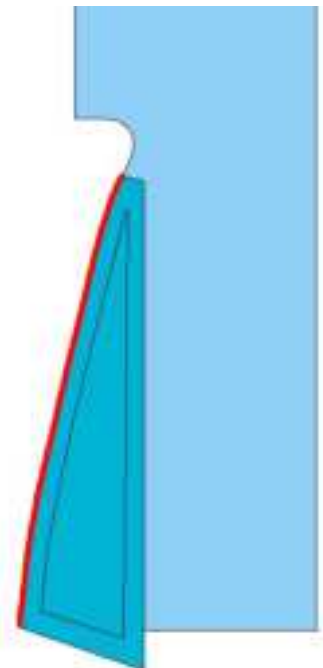


12. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

- しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
- 以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。

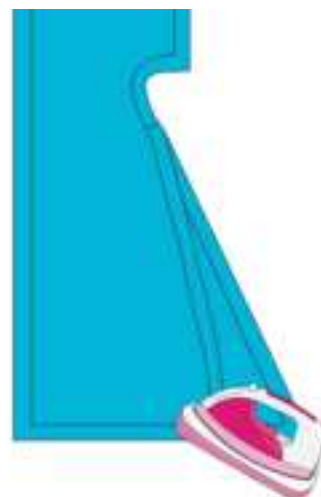


13. おくみ×2と身頃×2の縫い代を2枚一緒に、
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。



14. 縫い代をおくみ側に倒して、アイロンをかける。

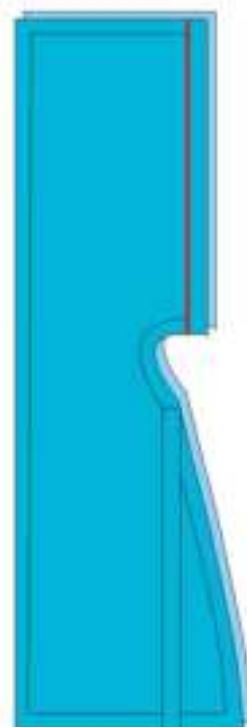
〔反対側も同じようにアイロンをかける。〕



身頃
bodice

おくみ
okumi

15. 身頃の背中を、表が内側になる様に合わせて縫う。



16. 背中の縫い代を開いて、アイロンをかける。



17. 袖×2の袖口側の縫い代を出来上がり線で折って、アイロンをかける。



18. 身頃×2 と袖×2 を、表が内側になる様に合わせて縫う。

身頃の SP と袖の SP が目印。

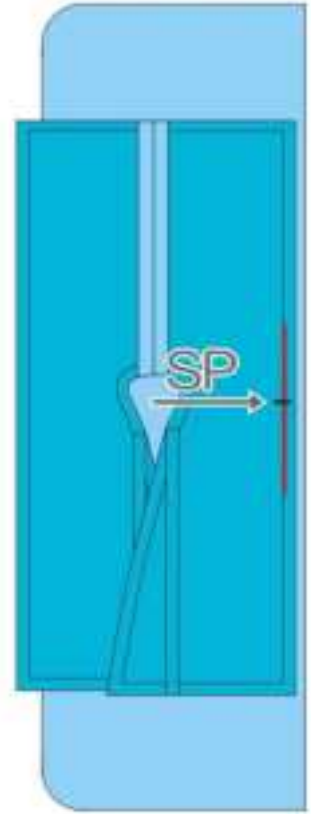
SP：ショルダーポイント。肩の頂点。

袖はカーブしてない方が、身頃側になる。

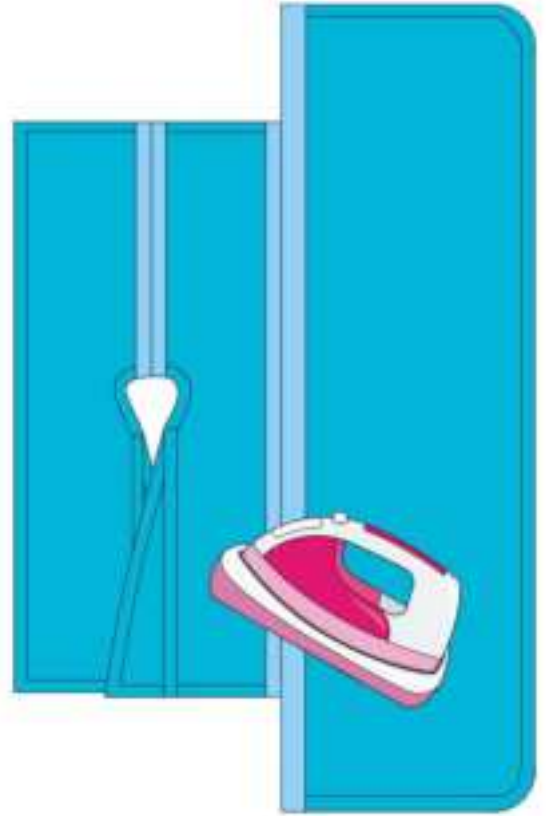
“身八つ口の開き”と書かれているところは縫わない。

身八つ口：身頃の脇の下の開き。

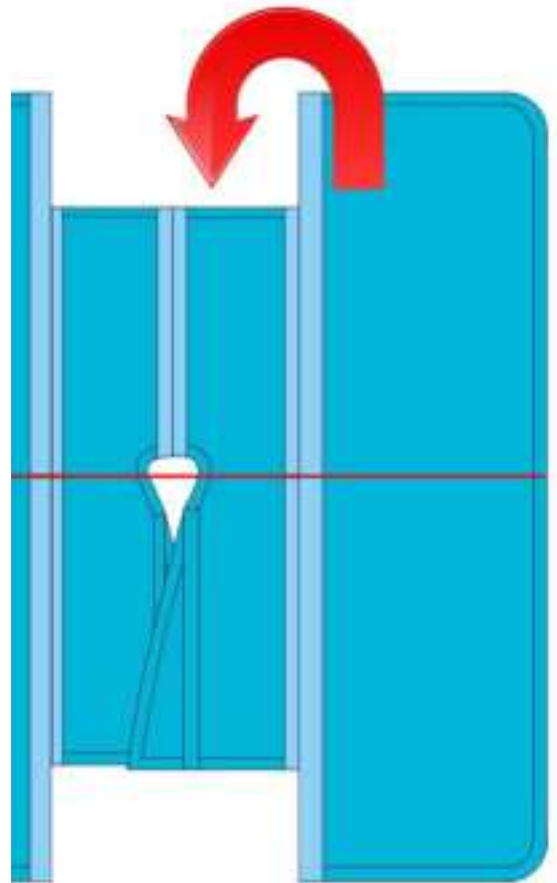
女性、子供用にしかない着物の特徴。

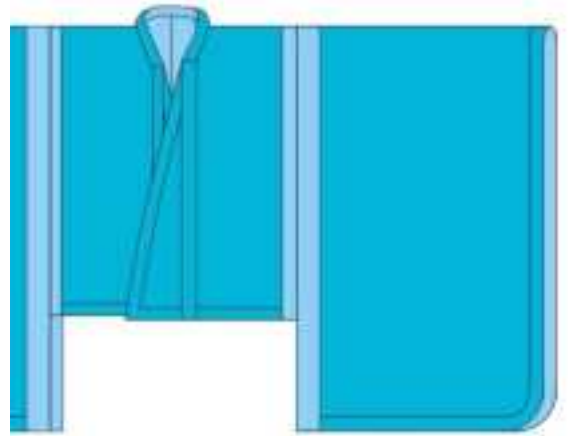


19. 身頃の肩と、袖の肩の縫い代全体にアイロンをかける。
〔反対側も同じようにアイロンをかける。〕



20. 表が内側になる様に、身頃を肩線(SP)で半分に折る。

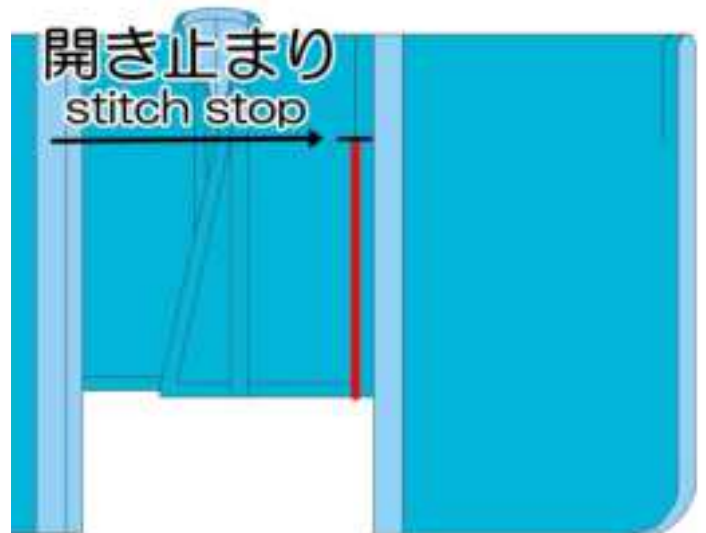




21. 袖口下の開き止まりから、身頃側までを縫う。
 [反対側も同じように縫う。



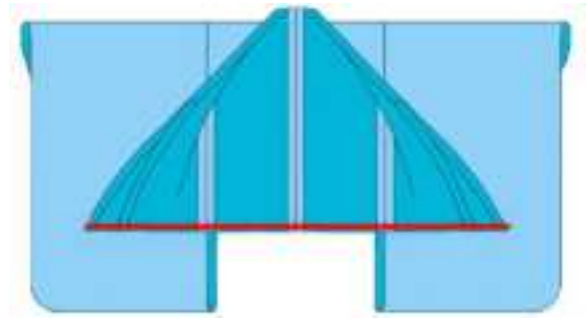
22. 身頃×2の脇を開き止まりまで縫う。
 [身頃の縫い代と、袖を縫わない様に注意。



23. 表に返す。

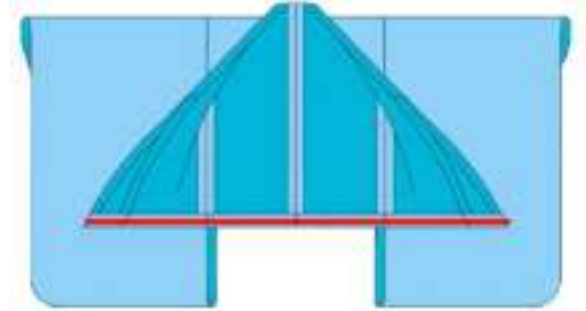
24. 裾に、ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

〔袖を巻き込まないように注意。〕



25. 裾を出来上がり線で折って縫う。

〔袖を巻き込まないように注意。〕

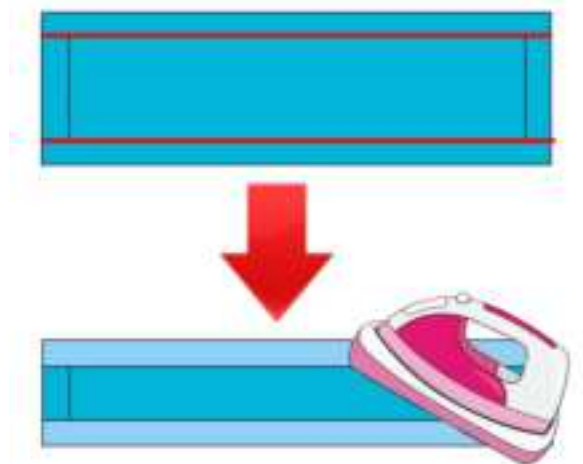


26. 衿に接着芯を貼る。

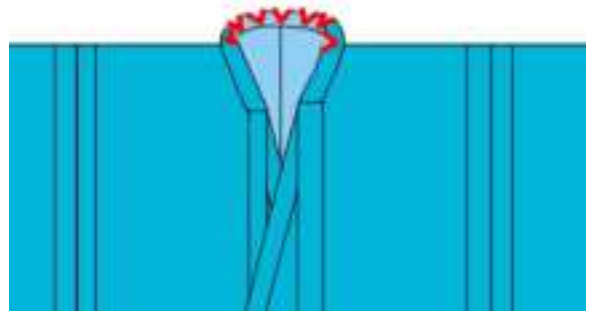
〔アイロンをスライドさせず、
上から押しあてる様にする。〕



27. 衿の縫い代を折って、アイロンをかける。

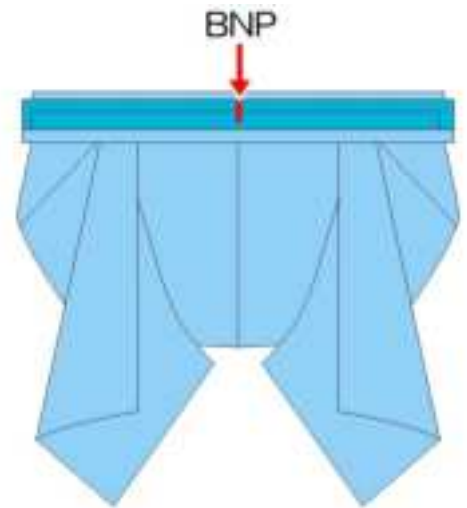


28. 身頃の衿のカーブに切り込みを入れる。



29. 身頃と衿を、表が内側になる様に合わせて縫う。

〔BNP:バックネックポイント。
後身頃にある首回りの後中心点。〕

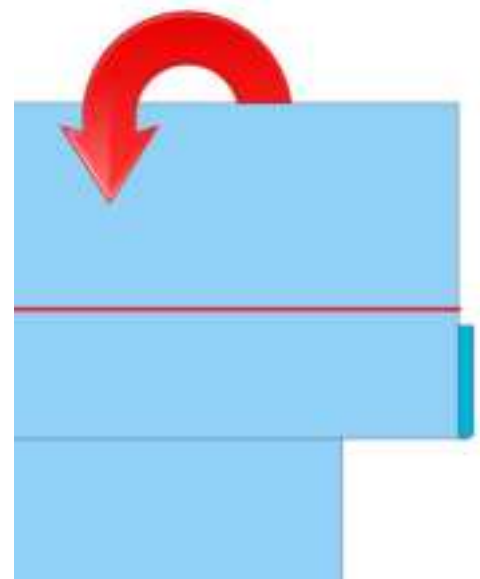


30. 衿を上に折る。



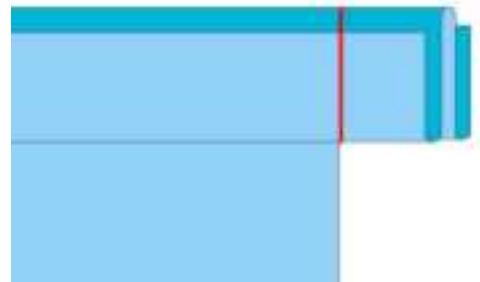


31. 衿の両端を、中心線で折る。



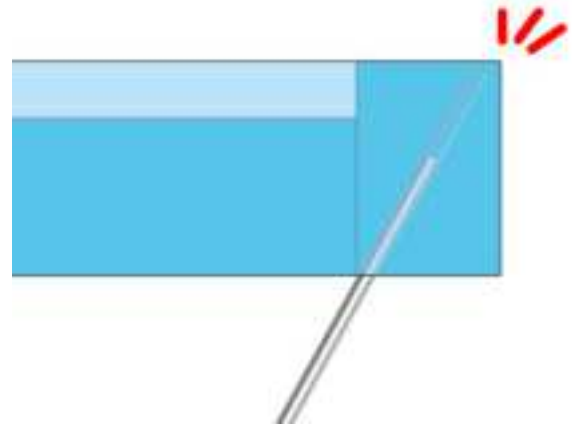


32. 縫い代を上折って縫う。
 [反対側も同じように縫う。

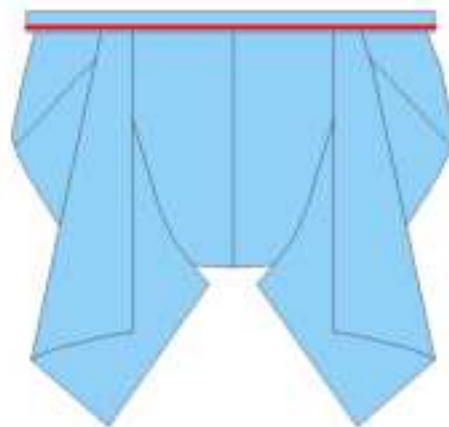


33. 衿を表に返して、太い針の“糸を通す方”で角を優しく押し出す。

（ 反対側も同じように整える。
 布団等の太い針を使う。
 ない場合は竹串やつまようじの“尖っていない方”などでも代用出来る。
 あくまでも優しく内側から押して角を出す。
 強く押ししたり、尖ったもので押ししたりすると貫通し布が傷む可能性も。

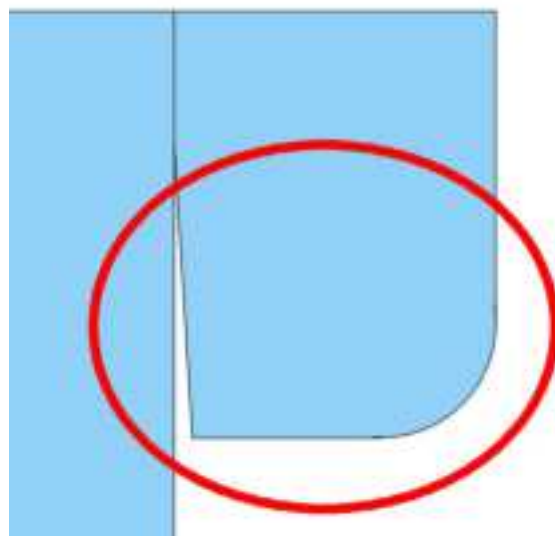


34. 衿の縁を縫う。

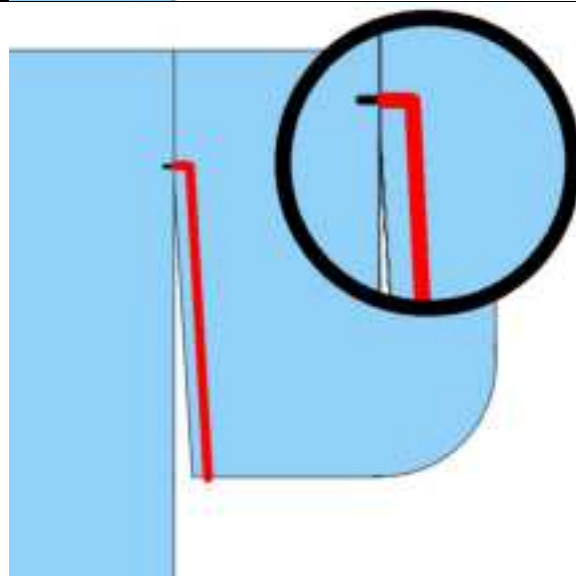


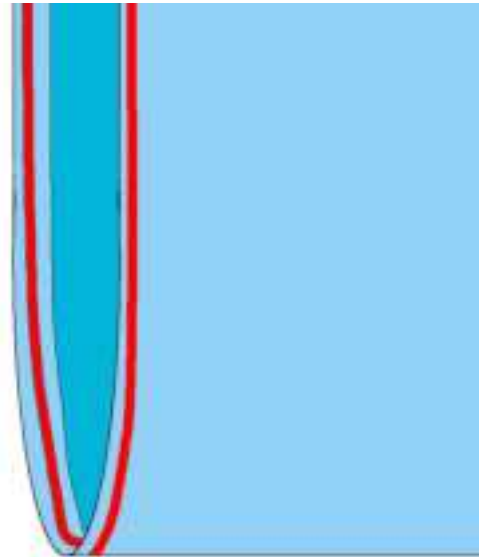
35. “袖×2の振り”部分の縫い代を整える。

〔袖の振り：画像の赤丸で囲った部分の事。〕



36. 袖×2の振りの開きを縫う。

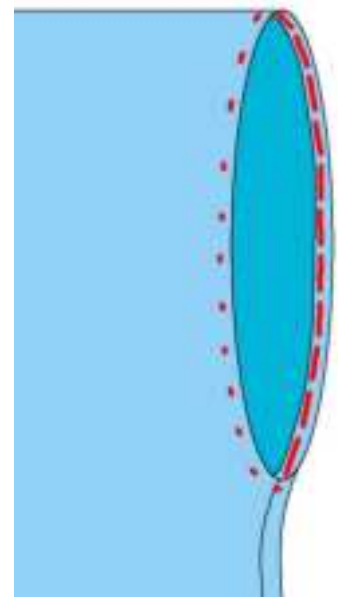
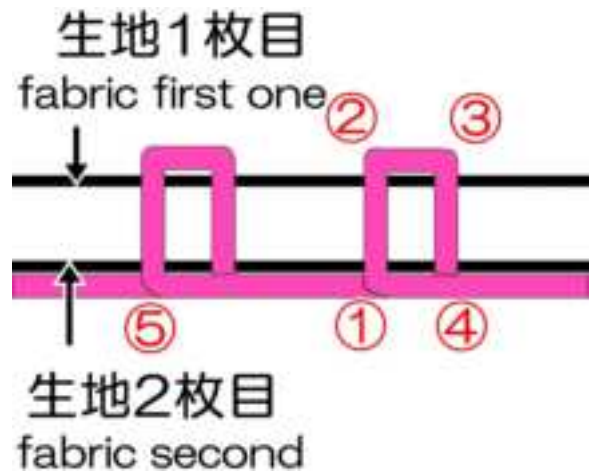




37. 袖口を”星止め”で縫う。

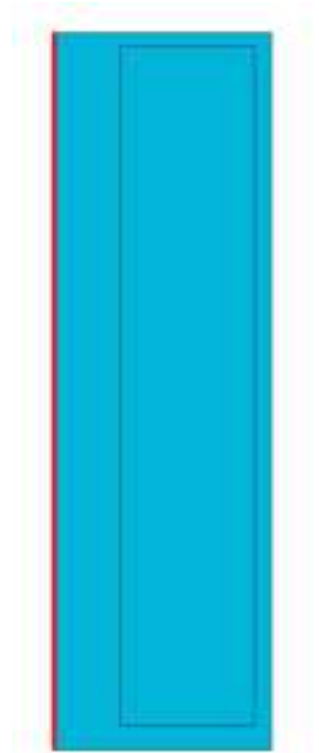
- ① 2枚目(縫い代)から針を刺す。
- ② 1枚目(表布)に針を出す。
- ③ 1mm程戻って針を刺す。
- ④ 2枚目に針を刺し、6mm程進む。
- ⑤ 2枚目に針を刺す。
- ⑥ ①～⑤を繰り返す。

針は布に対して垂直に刺すと、
終盤で布の長さが違う等のトラブルが起き辛い。

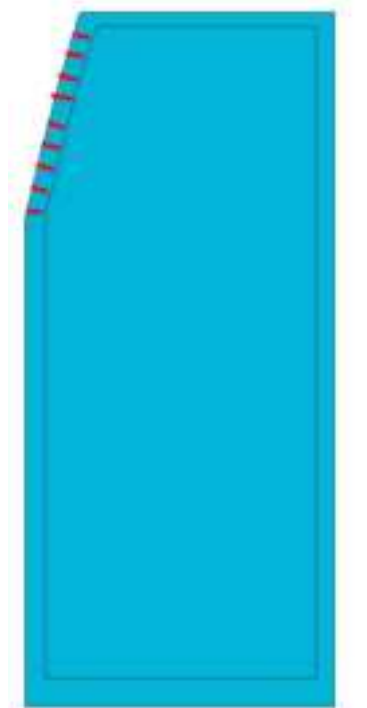


-----以上で上着は終了です。-----

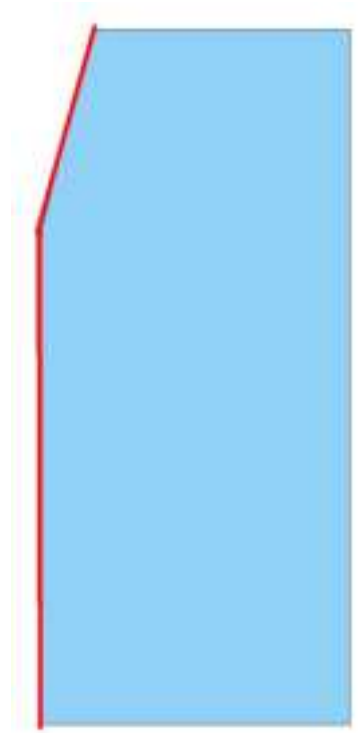
38. スカートおくみ×2の縫い代が広い方に、
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。



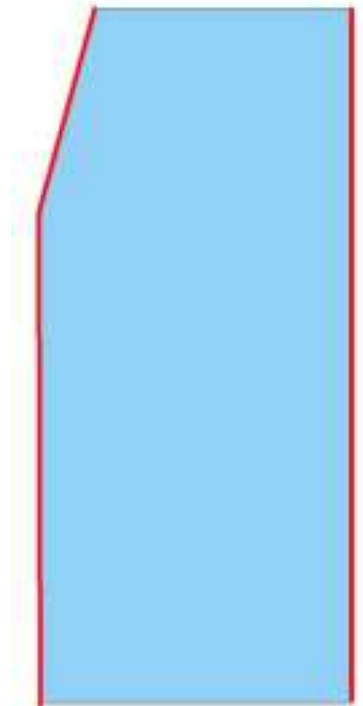
39. 前スカート×2、後ろスカート×2の脇のカーブに切り込みを入れる。



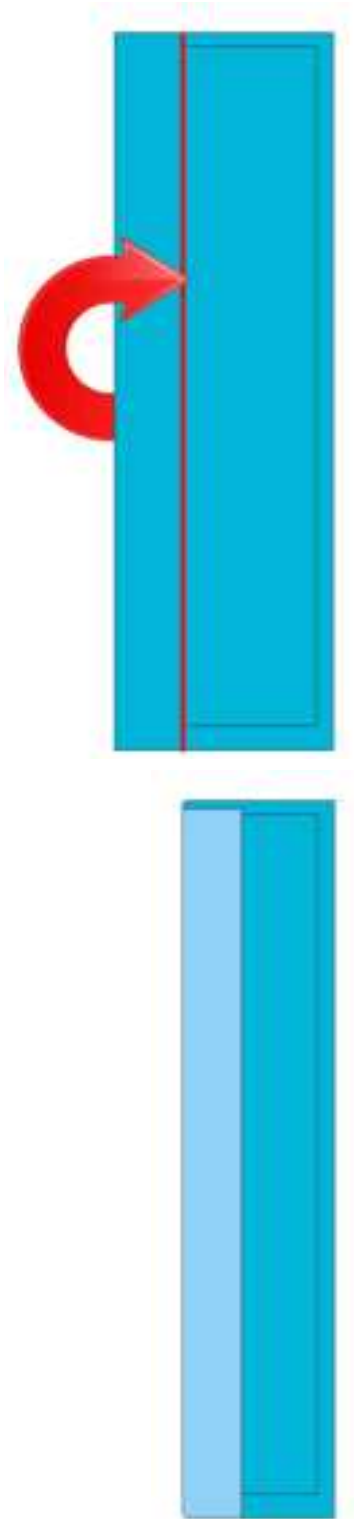
40. 前スカート×2 のカーブがある方に、
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。



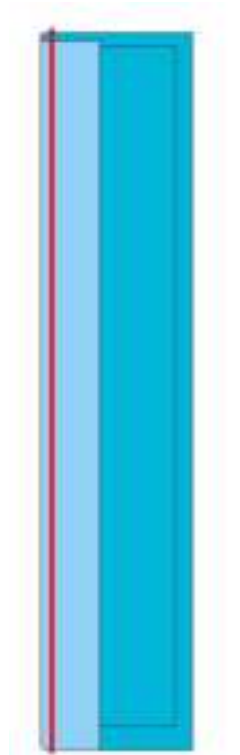
41. 後ろスカート×2 の両端に、
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。



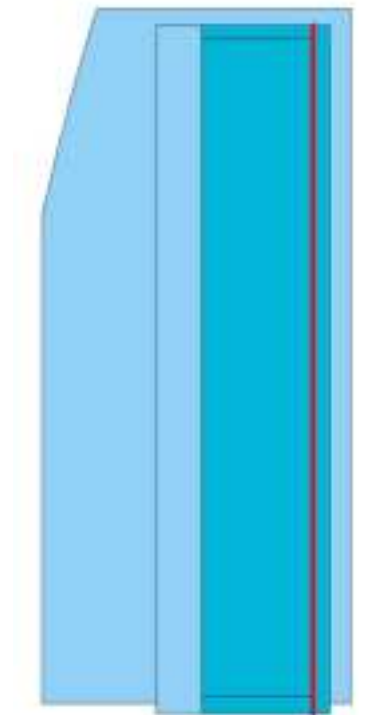
42. スカートおくみ×2の縫い代を折る。



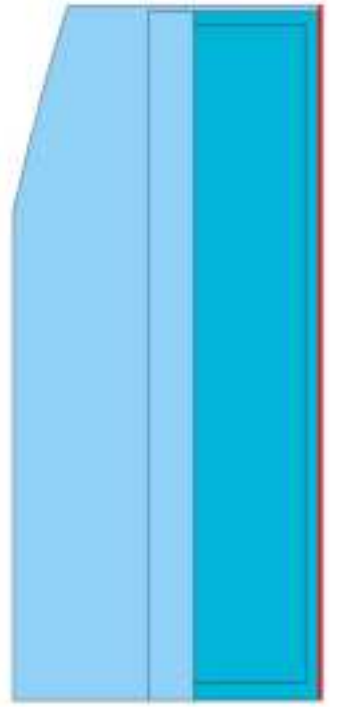
43. スカートおくみ×2の端を縫う。



44. ”スカートおくみ”×2と前スカート×2を、
表が内側になる様に合わせて縫う。



45. 縫い代を2枚一緒に、ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

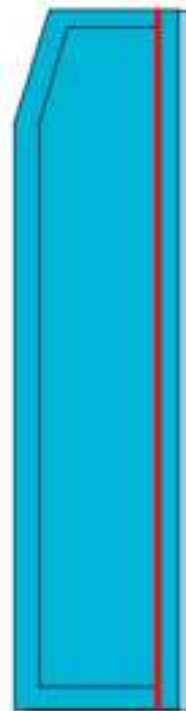


46. 縫い代をおくみ側に倒して、アイロンをかける。

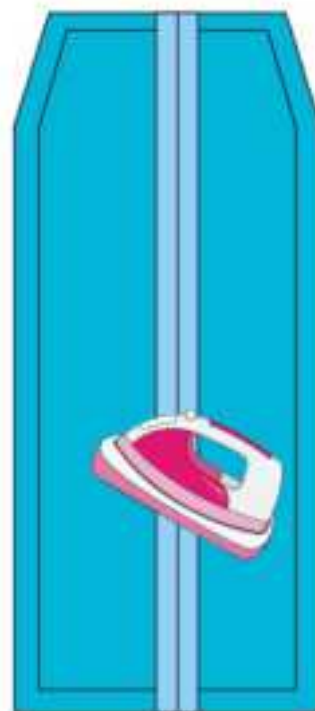
〔 反対側も同じようにアイロンをかける。〕



47. 後スカートを、表が内側になる様に合わせて縫う。

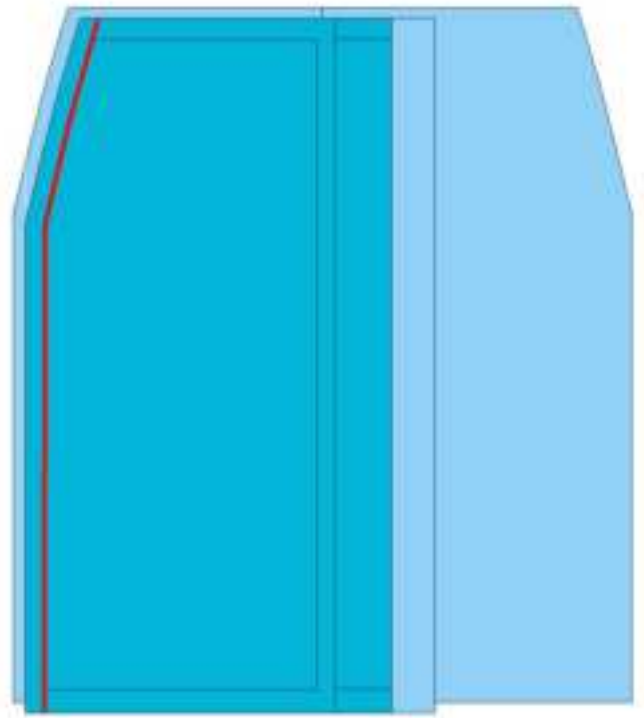


48. 縫い代を開いて、アイロンを掛ける。

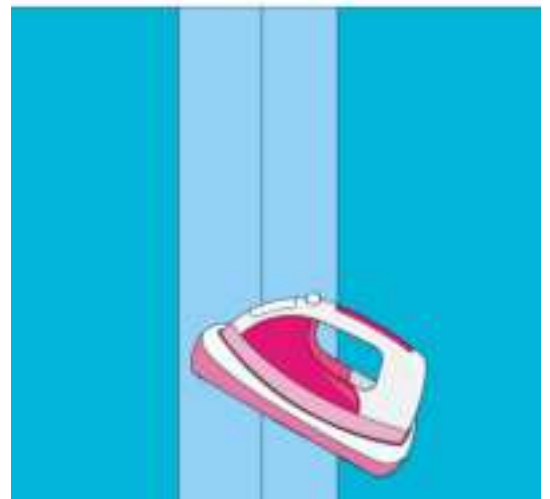


49. 前スカートと後スカートの脇を、表が内側になる様に合わせて縫う。

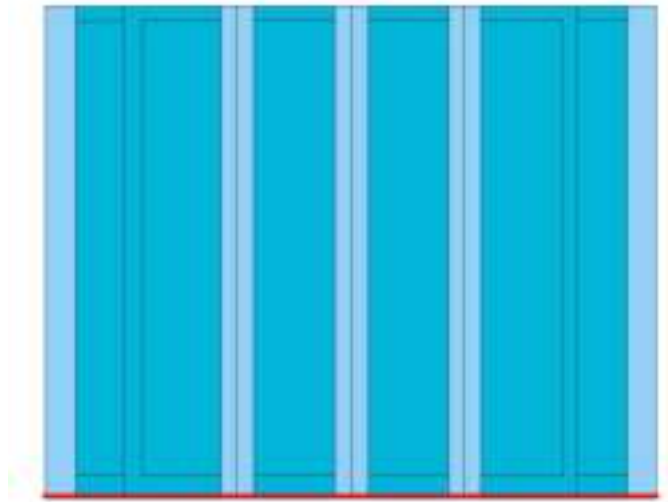
〔 反対側も同じように縫う。〕



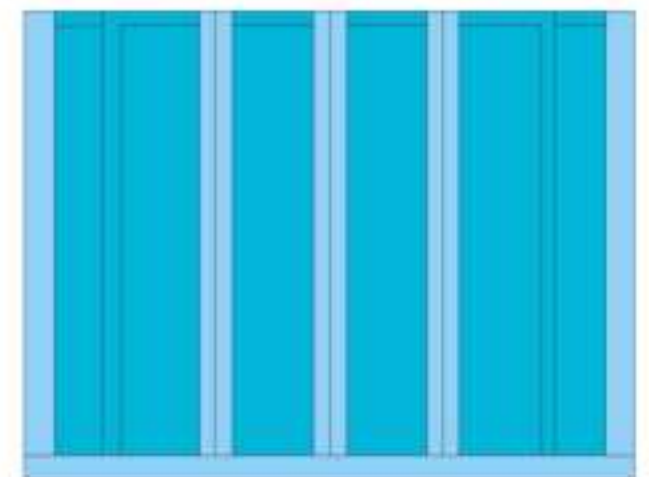
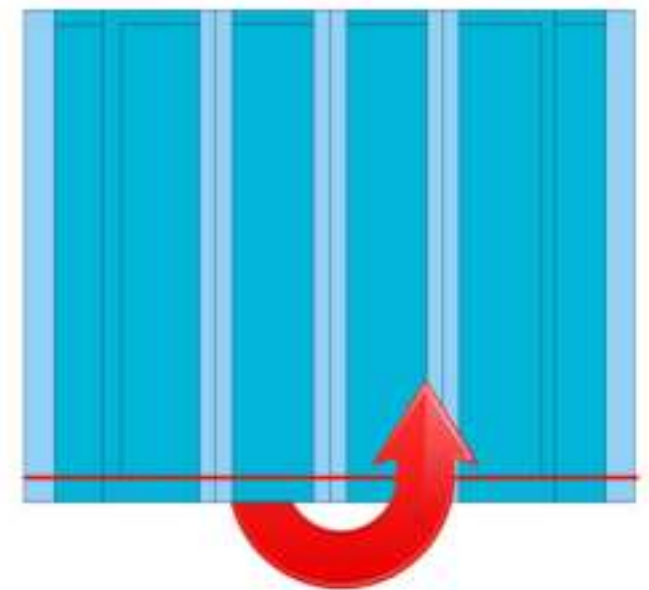
50. 縫い代を開いて、アイロンを掛ける。



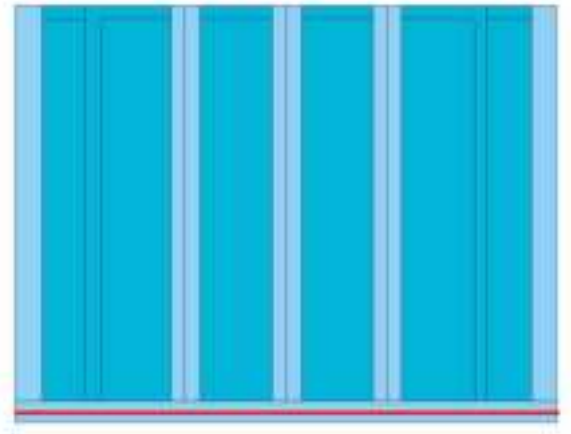
51. スカートの裾に、
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う



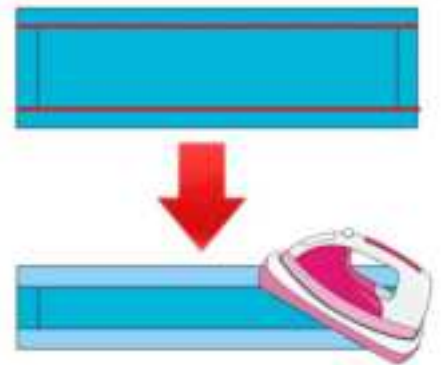
52. スペース裾を出来上がり線で折る。



53. スカートの縁を縫う。



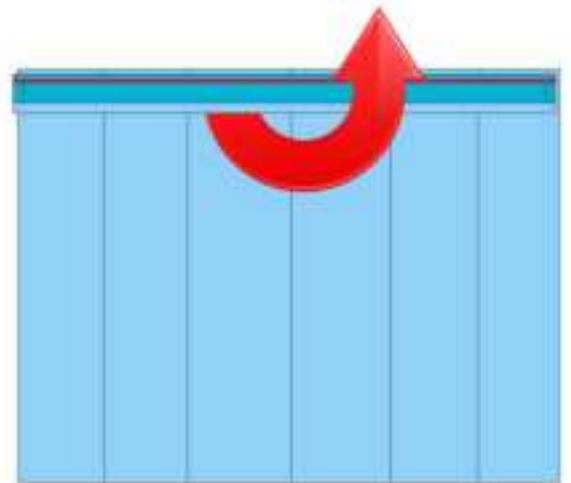
54. ウエストベルトの縫い代を折って、アイロンをかける。

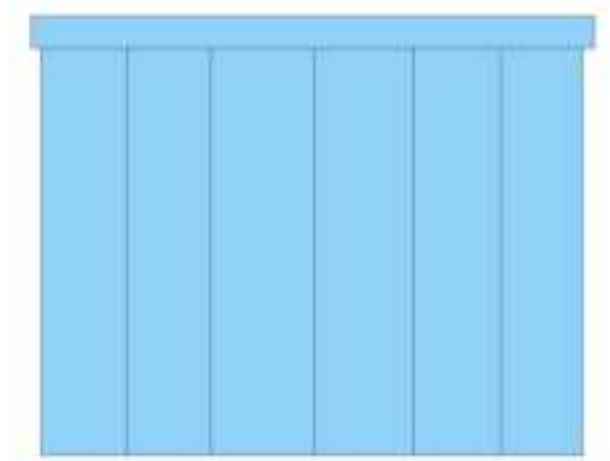


55. スカートとウエストベルトを、表が内側になる様に合わせて縫う。

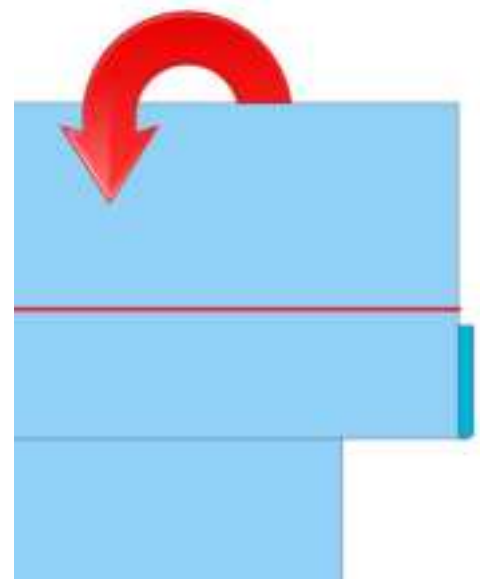


56. ウエストベルトを上にも折る。



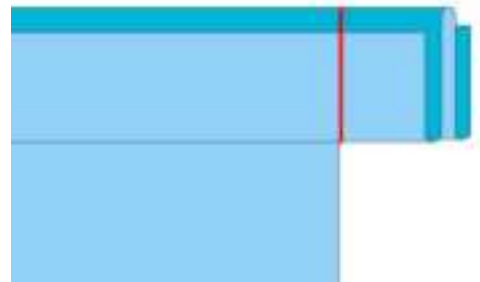


57. ウエストベルトの両端を、中心線で折る。

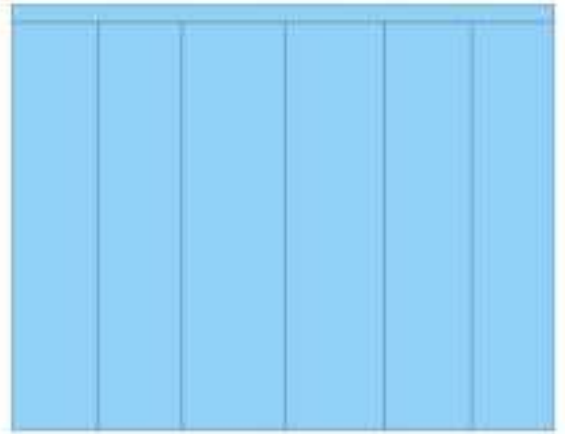




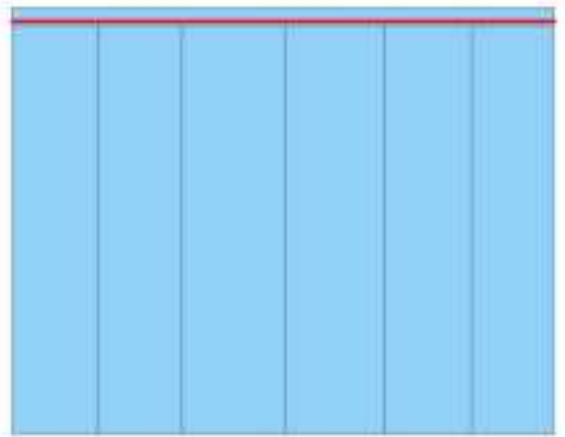
58. 縫い代を上折って縫う。
〔 反対側も同じように縫う。〕



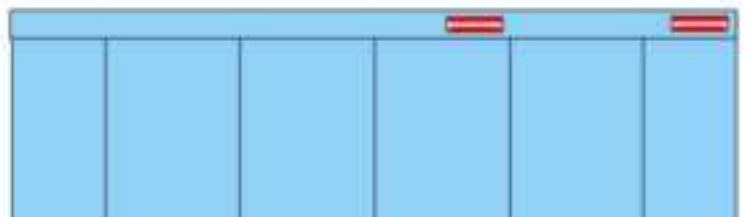
59. ウエストベルトを表に返して、角を優しく押し出す。



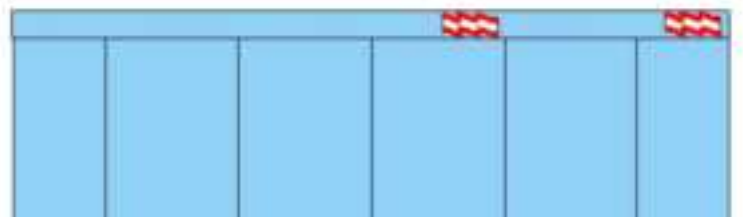
60. ウエストベルトの縁を縫う。



61. 面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。



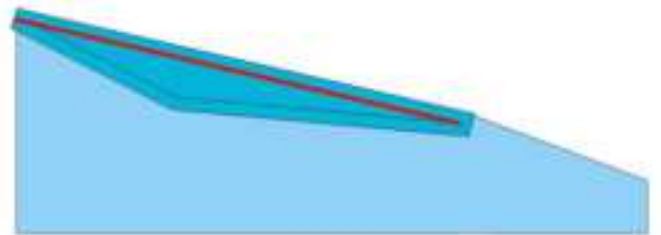
62. 面ファスナーの周りをまつり縫いで付ける。



-----以上でスカートは終了です。-----

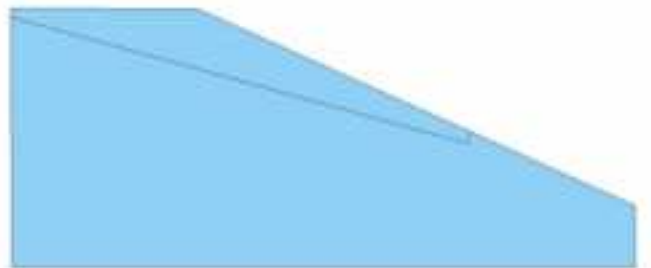
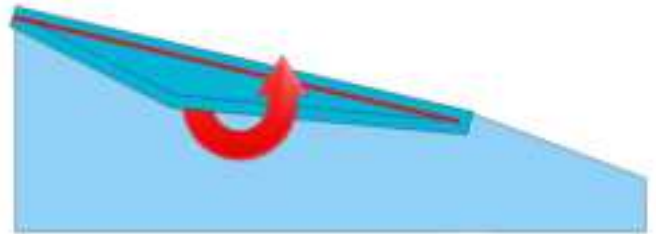
63. 帯本体 A と帯本体 B を、
表が内側になる様に合わせて縫う。

- ☆同士を合わせる。
- 帯中央付近の縫い代は縫わない。





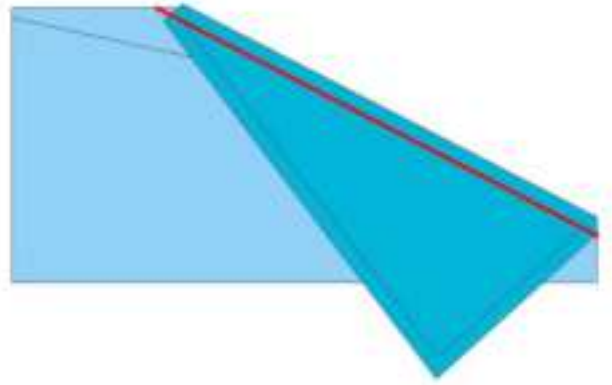
64. 帯本体 B を上に倒す。



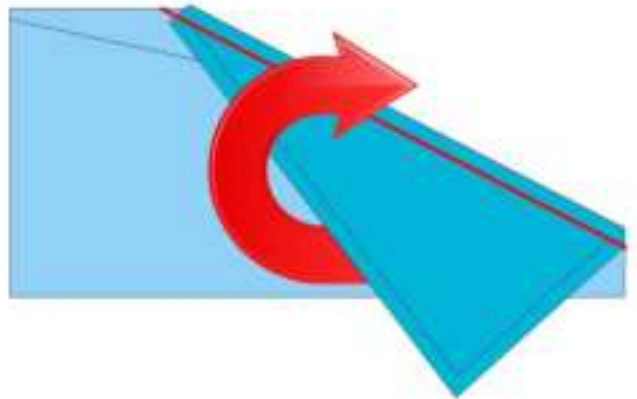
65. アイロンをかける。



66. 帯本体 C と 65 を、
表が内側になる様に合わせて縫う。



67. 帯本体 C を上に倒す。

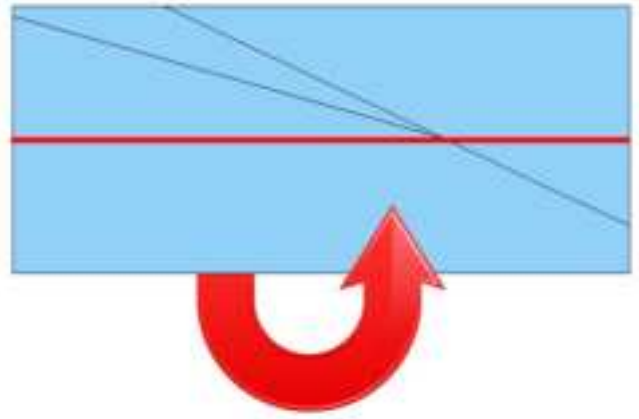


68. アイロンをかける。



※接着芯を貼りたい場合は、ここで接着する。

69. 帯本体の中心を、表が内側になる様に折る。

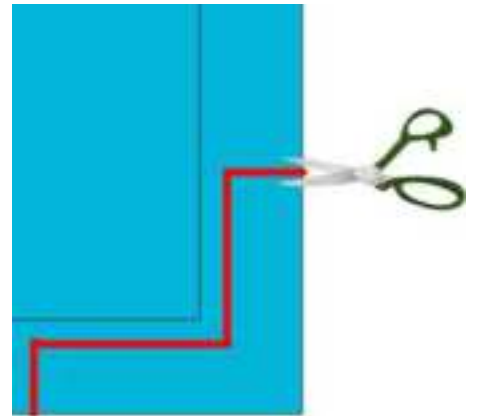


70. 開き止まりまで縫う。



71. 角をカットする。

〔反対側も同じようにカットする。〕



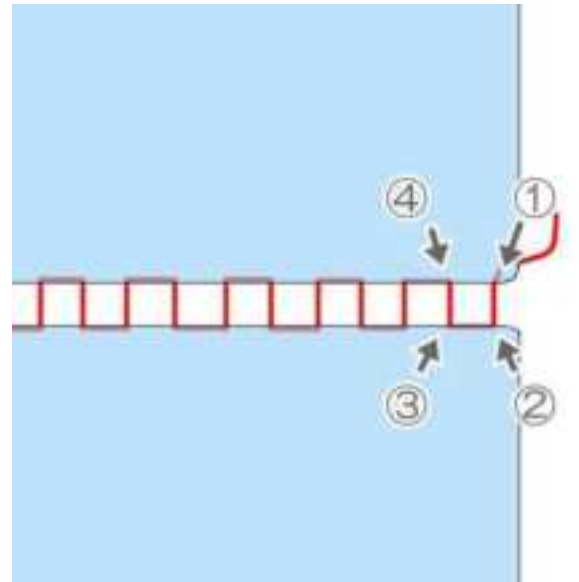
72. 表に返して、太い針の“糸を通す方”で角を優しく押し出す。

73. 開きを“はしごかがり”でとじる。

- ① 布の裏側から針を刺す。
- ② 反対側に針を刺し、布を 4mm 程すくう。
- ③ ②ですくった先から針を出す。
- ④ 反対側に針を刺す。
- ⑤ ①～④を繰り返す。

〔針は布に対して垂直に刺すと、終盤で布の長さが
違う等のトラブルが起き辛い。〕





74. アイロンを掛ける。



75. 面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。

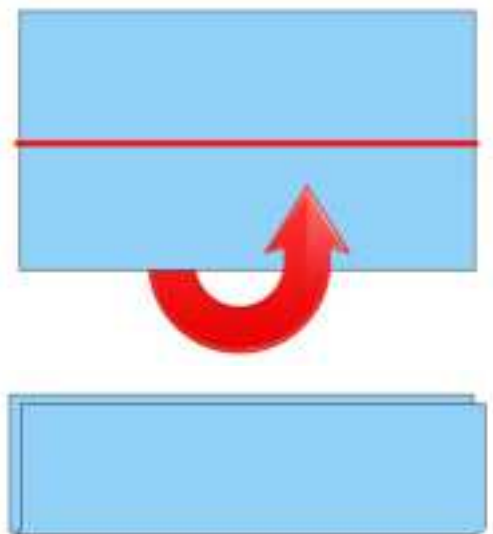


76. 面ファスナーの周りをまつり縫いで付ける。

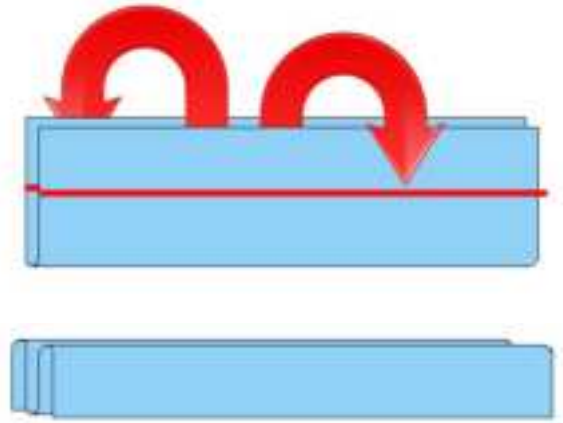


77. リボンを、69～74 と同じように進める。

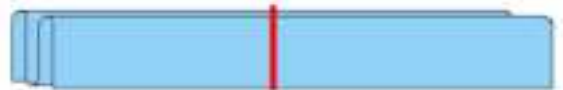
78. リボン上を中心で折る。



79. 更に中央を左右に折る。



80. 縦中央を留める。

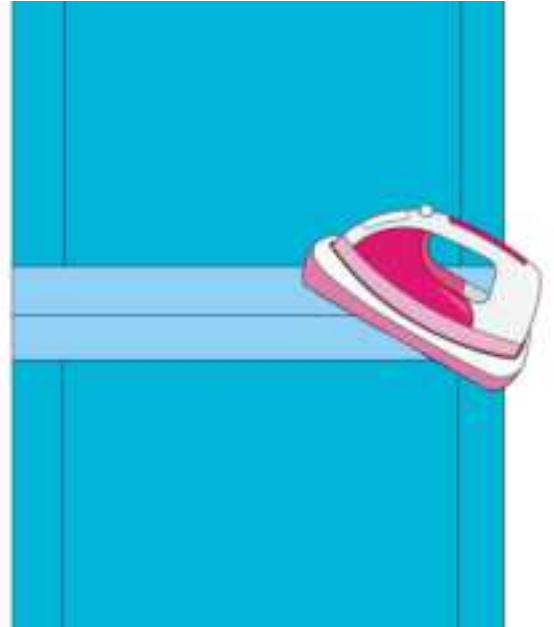


81. たれ A とたれ B を、表が内側になる様に合わせて縫う。

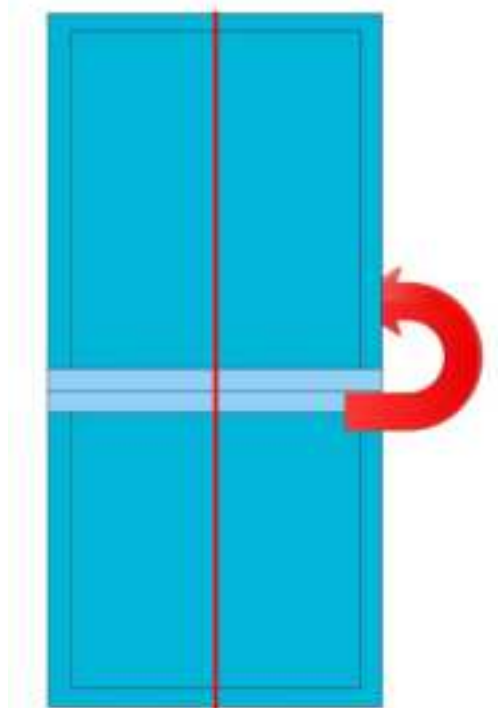
[△同士を合わせる。



82. 縫い代を開いて、アイロンをかける。



83. たれの中心を、表が内側になる様に折る。



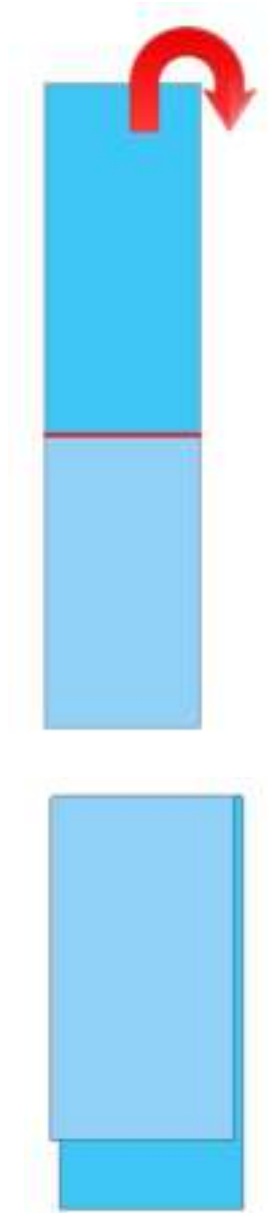


84. 開き止まりまで縫う。

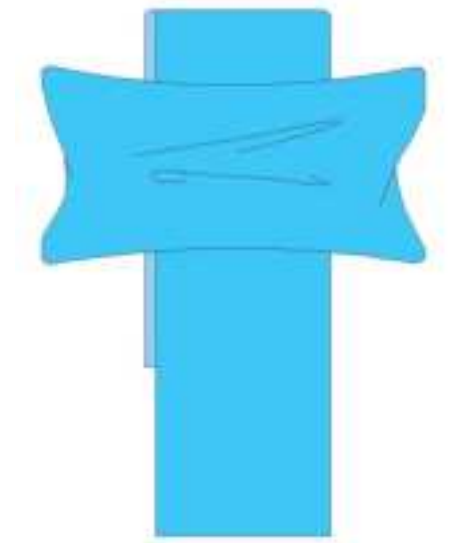


85. 71~74 と同じように進める。

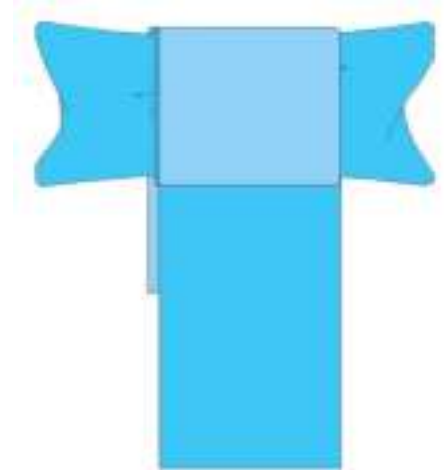
86. たれAとBの境目で折る。
〔たれA（短い方）を上にする。〕



-
87. たれB（長い方）を上にし、
その上にリボンを裏側にしてのせる。

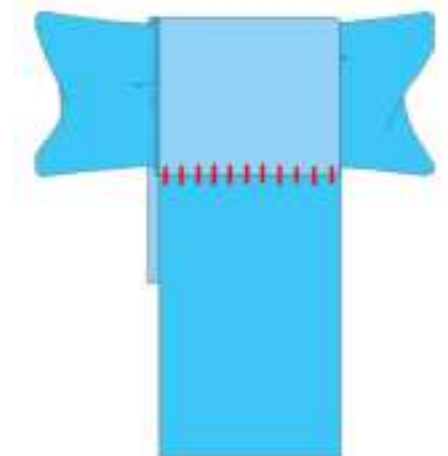


88. リボンをたれで巻く。

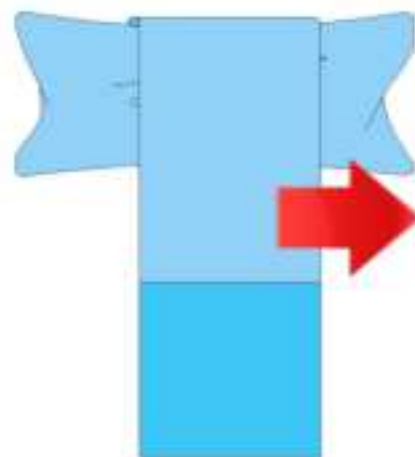


89. たれが開かないように縫い留める。

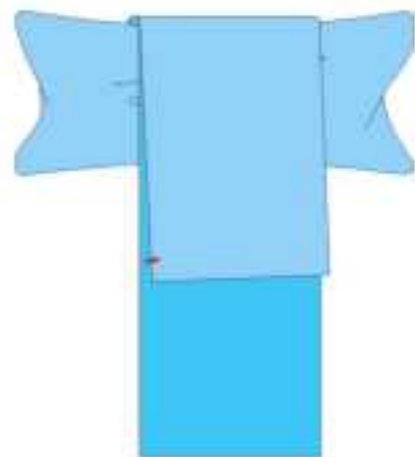
〔表に糸が出ないように注意。〕



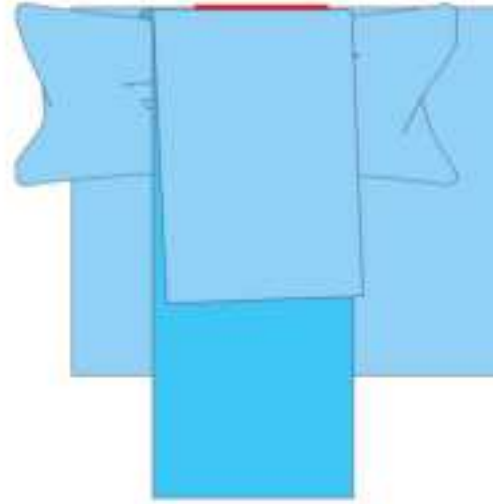
90. 表にし、たれ A を少しずらす。リボンの位置も整える。



91. 目立たない場所に、たれ A の一部を縫う。



92. 帯本体に縫い付ける。



お疲れ様でした！